

BIG DATA HUSH INC.



人工知能 + ロボットプロセス自動化ツール

目次

データ コフンド	1 /
変数の変更	
PDF 抽出	
置き換える テキスト	
テキストの分割	
サブストリング	
テキスト抽出	14
エンジンコマンド	
エラー処理	
スクリプトの一時停止	
エンジン遅延の設定	
ストップウォッチ	
Excel コマンド	20 - 25
ファイル操作コマンド	
ファイルのコピー	
ファイルの移動	
	24
ファイル名の変更ファイルを待つ	20
	20
IE ブラウザ コマンド	
ブラウザを閉じる	
ブラウザの作成	27 - 28

コマンドの場合	
開始する場合	29 -
30	
30 終了する場合 30	29 -
イメージ コマンド	
画像認識 スクリーンショットを撮る	31 31
入力コマンド	
HTML 入力のプロンプト	
ループ コマンド	
ループリスト ループの終了 連続ループ ループの終了 ループ回数	
その他のコマンド	
コマンド コメントの追加 クリップボード テキストの取得 SMTP 電子メールの送信	

メッセージの表示	
プログラム / プロセスコマンド	
プロセスの開始	43 43
システム コマンド	
環境変数 OS 変数 システムアクション	
テキスト ファイル コマンド	
テキスト ファイルの読み取り テキスト ファイルの書き込み	
変数コマンド	
変数に追加 新しい変数 変数の設定 	
Web ブラウザコマンド	
ブラウザの作成 ブラウザを閉じる 要素アクション 戻る 前方へ移動	48 - 49 48 - 49 48 - 49 48 - 49 50 50
URL に移動 更新	

ウィンドウ コマンド

ウィンドウのアクティブ化	51
ウィンドウを閉じる	51
ウィンドウの移動	52
ウィンドウのサイズ変更	52
ウィンドウの状態を設定する	53
ウィンドウが存在するのを待つ	53

データ コマンド

このパートでは、ほとんどすべてのスクリプトで、スクリプトの結果を確認するには次の手順が 必要です。「序文を見る」と表示された場合は、次の操作を行う必要があります。 1) 「新規作成」をクリックします。



2) 左側にコマンドツリーが表示されます。「Excel コマンド」を見つけてダブルクリックします。次に、「Excel アプリケーションの作成」を見つけてダブルクリックします。このコマンドは、スクリプトの起動時に Excel アプリを自動的に作成します。



インスタンス名を入力してください]フィールドに任意の名前を入力します。[OK]をクリ クします。 3)「ウィンドウコマンド」を見つけてダブルクリックします。次に、「ウィンドウをアクティブ にする」をクリックします。



最初のフィールドに "Excel" を書き込みます。

4)「ウィンドウコマンド」で、「ウィンドウ状態を設定」を見つけます。



スクリーンショットの「現在のウィンドウ」と「最大化」を選択します。

5)「 Excel コマンド」で「ワークブックの追加」を見つけ、最初のフィールドに任意の名前を入 力します。

	🗈 Add New Command – 🗆 🗙 –	
Iron Man	Excel Commands - Add Workbook	
File Actions Image: State	Please Enter the instance name * Insert Variable e1	
 API Commands Data Commands Engine Commands Excel Commands Activate Sheet Add Workbook 	Comment Field (Optional)	
Close Excel Application Create Dataset Create Excel Application Delete Cell Delete Row Get Cell		
Get Last Row Index Go To Cell Open Workbook Run Macro Save Workbook Save Workbook As Save Workbook As Set Cell File Operation Commands		
E Browser Commands		

6) このステップでは、変数を作成します。変数 – データ(文字列、数字など)を入れることができる箱のようなものです。

画面に表示されている「変数コマンド」と「新しい変数」を見つけます。

	Add New Command – 🗆 🗙	- 🗆 🗡
Iron Man	Variable Commands - New Variable	
File Actions Image: Second system Image: Second system	Please define the name of the new variable variable Please define the input to be set to above variable	
Engine Commands Excel Commands File Operation Commands	* Insert Variable	
 IE Browser Commands If Commands Image Commands 	Define the action to take if the variable already exists	1
 Input Commands Loop Commands 	Comment Field (Optional)	
 Misc Commands NLG Commands Programs/Process Commands 		
 System Commands Task Commands Text File Commands 		
Variable Commands		
New Variable Set Variable Set Variable Index		
 Web Browser Commands Window Commands 		

フィールド「新しい変数の名前を定義してください」に文字列 " 変数 " を入力してください。その他の変数は空のままにします。ここでは使用するすべてのコマンドのすべての機能について、 このマニュアルで以下で説明します。 「新しい変数」(「新しい変数」を2回選択)、「変数」と「結果」の2つの変数を作成しま す。 7)次に「変数の設定」を見つけ、チャプターで提案するテキストを入力します。



最初のフィールドに " 変数 " を書き込み、 2 番目のフィールドに提案するテキストを書き込 みます。

8)「 Excel コマンド」で「セルの設定」を検索し、インスタンスの名前(「ワークブックの追加」に書いています)、セルの挿入名(A1を推奨します)、角かっこで囲まれた名前「変数」を 書き込みます(角かっこで囲む場合は、テキスト「変数」のみがセルに入力されます)変数 "変数"の値ではありません)。このコマンドは、セルに「変数」値を入力します。



そこで、標準的な手順がわかったところで、データ コマンドのしくみをテストする 準備をしました。

データコマンド - ' 変数の変更 '

コマンドの目的は、大文字、小文字など、関連する形式の変数の変更です。コ マンドをテストするために、次のスクリプトを作成できます。 序文の手順を繰り返します。

1) [データコマンド]-> [変数の変更]の順にクリックします。



2 番目のフィールドで、コンテナーの値を変更する方法を選択します (「大文字」など)。3 番目のフィールド 2) 結果を見るために「結果」の値を A3 セルに設定します(前文を見て、ス

2) 結果を見るために「結果」の値を A3 セルに設定します (前文を見て、ス テップ 8)

3)「保存」をクリックし、「実行」をクリックし、スクリプトが何をする かを見ます。

データ コマンド - ' Pdf 抽出

このコマンドは、.pdf ファイルからテキストを抽出できます。 コマンドをテストするために、次のスクリプトを作成できます。

1) 新しい変数 "pdf" を作成します(前文、ステップ6を参照)。この変数では、.pdf ファイルからテキストを入力します。

2) [データコマンド]-> [PDF 抽出]をクリックします。



最初のフィールドに .pdf ファイルへのパスを、2 番目のフィールドに変数 名を入力します。 3) [プログラム / プロセスコマンド]-> [プロセスの開始] をクリックします。



このコマンドを実行すると、メモ帳が開きます。このコマンドのすべての機能については、こ のマニュアルで以下に説明します。

4) クラリック入力コマンド -> キーストロークの送信

<u>N</u>	8	Add New Command	- 🗆 🗙	- 🗆 🗡
Iron Man	Input Commands - Send Keystroke	is	-	
File Actions	Please Enter the Window name			
	Current Window		~	
New Open Import Save Save As	Please Enter text to send			
🗅 API Commands 📃 🔼	* Insert Variable			
Data Commands	pdf			l m
Engine Commands	Comment Field (Optional)			
Excel Commands				
File Operation Commands				
E Browser Commands				
E In Commands				
/ Input Commands				
Prompt for HTML Input				
Prompt for Input				
Send Advanced Keystrokes				
Send Keystrokes				
Send Mouse Click				
Send Mouse Move				
UI Automation				
Eleop Commands				
Misc Commands				
NLG Commands Drograms (Process Commands				
System Commands				
- System Commands				
	Ok Cancel			

このコマンドは、 "pdf" 変数の値をメモ帳に送信します。

5)[保存]と[実行]をクリックして、スクリプトの操作を確認します。

データ コマンド - ' テキストの置換

この章を読み始める前に序文を読んでください。序文のステップ 7 で、次のテ キストを入力します。

テキストの例を次に示します。

"ブラウザを開き、世界で最も裕福な人々を検索し、 Excel ファイルを開 き、 Excel にすべての検索データを入れて、私の電子メールにデータを含む手紙 を送信します "

1) [データコマンド]->[テキストの置換]の順にクリックします。



のフィールドに、置換されるテキストを含む変数の名前を挿入します(この場合は "variable")。次 置き換えられる部品を何で挿入します(3 番目のフィールド)。例えば、「ブレンダ呼吸とブレンダス ト」があり、すべての "br"-sを "sou" に置き換えたいと思います。その結果、あなたは「スエンダスエ とスエンダスマート」を持つことになります。

クリーンショットのように)結果を含む変数の名前を書きます。

2) 結果をセル A3 に設定します (序文を見て、手順 8)

3) [保存] と [実行] をクリックしてスクリプトを開始します。

data Commands - ' split Text '

このコマンドを使用すると、テキストを区切り記号で分割できます。開始する前に、1つの 変数が複数のデータで構成される方法を理解できます(例:変数 "strings" には "Hello" 文字 列と "World" 文字列が含まれ、 "Hello" ではなく含まれます)を理解できます。ワールド」 の文字列か、こんなもの。1つの変数 — 2つの文字列)。何か(ボールなど)を入れること ができる箱としての画像変数。100個のボール、赤、グリーンを入力したい場合はどうでし ょうか。私たちは部門のボックスを分離し、「赤」部門に赤いボールを置き、「緑」の部門 で緑のボールを置くことができます。そして、ボールを取るとき、グリーンのボールは緑の 部署にあるので簡単に取ることができます。変数の言語では:ボックス = 変数、ボール = 値、 部門 = インデックス。このような変数は「リスト変数」と呼ばれます。

例えば、文字列"こんにちは!私の名前は Name"変数ですが、それぞれが別々に取られた単語を扱いたいと思います。そのためには、テキストを ""文字で分割し、すべての単語を含む新しい変数 "result" に結果を個別に書き込むことができます。スクリプトでの動作を見てみましょう。

この章を読み始める前に序文を読んでください。序文のステップ 7 で、次のテキストを入 力します。

テキストの例を次に示します。

"ブラウザを開き、世界で最も裕福な人々を検索し、 Excel ファイルを開き、 Excel にすべての検索データを入れて、私の電子メールにデータを含む手紙を送信します"

1)「入力コマンド」を見つけて「キーストロークを送信」をクリックします。「現在のウィ ンドウ」を選択し、「 {ENTER} 」を入力します。



2) データコマンドの検索 -> テキストの分割、変数の名前(この場合は「変数」)を書き込み (私たちの場合は「変数」)、区切り記号を入力するか、フィールドを空にします(区切り記号 は ""(ギャップ)文字です)。次に、結果を書き込む変数の名前を書きます(この場合は "result]"(角かっこ付き)を入力します。

	Add New Command –	×
Iron Man	Data Commands - Split Text	
File Actions	Please select variable or text to split	
★ 🗀 → 💾 ⊊	variable	
New Open Import Save Save	Input Delimiter (ex. [crLF] for new line, [chars] for each char, ',')	
> API Commands		re] ^
Date Calculation	Please select the list variable which will contain the results	
Format Data	🛠 Insert Variable	
Get Word Length	[result] v	cod do
Log Data	Comment Field (Optional)	sed do
Modify Variable		
Parse JSON Array		
Parse JSON Object		
RegEx Extraction		
Replace Text		
Split Text		
Substring		
Text Extraction		true
Engine Commands		
Excel Commands		
File Operation Commands		
> If Commands		
		×
	Ok Cancel .	

:、 Excel のセルに結果を書き込む必要がありますが、リスト変数であることを覚えていま このタスクでは、値を 1 つずつ受け取る "ループ リスト コマンド " があります (たとえ ボックスの場合は部門別)。ループの機能については、このマニュアルで以下に説明しま ここで「テキストの分割」コマンドについて説明しますので、ループ構造を理解していない ;でも、指示に従ってください。

私たちの部門はインデックスであるため、 0 の値を持つ "I" という名前の開始 /デックスを作成する必要があることを思い出してください。値 "I"(前文、ステ プ6)を作成し、「上記の変数に設定する入力を定義してください」入力 0 のフ -ルドに。

ループコマンドを検索 -> ループリストを入力し、最初のフィールドに「[結 」を入力します。スクリプト作成パネルでわかるように、「ループリスト変数 ult] 」と「ループ終了」の2つのコマンドが作成されました。次のすべてのコマ ヾは、その間に入力する必要があります。



5) 次に、 If コマンドを見つけます -> 開始する場合.「コマンドの種類を選択してください」で「変数比較」を選択します。「値1」の反対側の「パラメータ値」フィールド入力「」。オペランドで「次の値と等しくない」を選択し、パラメータ値 "Value2" に「10」を書き込みます。このアクションの結果は、スクリーンショットで確認できます。

2	2	Ad	d New Command	- 🗆 ×	- 🗆 🗡
Iron Man	If Command	s - Begin If		•	
File Actions	Please sele	ct type of If Command			
	Variable C	ompare		~	
New Open Import Save Save As	Additional * Insert Vari	Parameters able			d do ^
Data Commands	Para	neter Name	Parameter Value		
Engine Commands	► Value	1	[1]		
Excel Commands	Opera	ind	is not equal to	¥	
File Operation Commands	Value	2	10		
IE Browser Commands	Case	Sensitive	No	¥	
Begin If Else End If Mage Commands					Ie
Input Commands Loop Commands					
Mise Commands					
> NLG Commands	Comment	Field (Optional)			
Programs/Process Commands					
System Commands					
> Task Commands					
Text File Commands					
Variable Commands					
Web Browser Commands					~
	Ok	Cancel			

のすべてのコマンドは、「開始 If」と「終了 IF」の間で入力する必要があります。

6) (ステップ1のように)キーストロークの送信を選択し、「[結果]」と入力します。次に、[キーストロークをもう一度送信]を選択し、「{ENTER}」と入力します。

7)「終了 If 」の後に「変数の設定」コマンド(前置詞、ステップ7を見てください)を追加 し、最初のフィールドに「I」を書き込み、2番目のフィールドに「[i]+1」と書きます(ス クリーンショットのように)。



スクリプトは次のようになります。

N	
2	taskt - (12_okSplitText.xml) – D 🗙
Iron Man	
File Actions Image: State of the s	Variables and Settings Variables Settings Variables Settings Clear Record and Run Variables Settings Record Schedule Run
API Commands Data Commands Engine Commands Excel Commands File Operation Commands If Browser Commands If Commands Inage Commands Loop Commands Misc Commands Misc Commands NG Commands Programs/Process Commands System Commands Task Commands Task Commands Variable Commands Web Browser Commands Window Commands	1 Image: Create Excel Application [Instance Name: 'e1'] 2 Activate Window State [Target Window: Current Window, Window State: Maximize] 3 Set Window State [Target Window: Current Window, Window State: Maximize] 4 III Add Workbook [Instance Name: 'e1'] 5 Ø New Variable [Assign '' to New Variable 'variable'] 6 Ø New Variable [Assign '' to New Variable 'result'] 7 Ø Set Variable [Apply 'Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore ma 8 IS Set Cell [Set Cell 'A1' to 'variable', Instance Name: 'e1'] 9 → Send Keystrokes [Send '[ENTER]' to 'Current Window'] 10 Split Text [Split 'variable' i'] 10 New Variable [Assign '0' to New Variable 'i'] 11 Ø New Variable [Assign '0' to New Variable 'i'] 12 C Loop List Variable '[result]' 13 If ([i] is not equal to 10) 14 → Send Keystrokes [Send '[ENTER]' to 'Current Window'] 15 → Send Keystrokes [Send '[ENTER]' to 'Current Window'] 16 End If Fend If 17 Ø Set Variable [Apply '[i] + 1' to Variable 'i'] 18 End Loop



データコマンド - ' サブ文字列 '

このコマンドを使用すると、定義された長さの位置から文字列で部分文字列を取得できま す。

この章を読み始める前に序文を読んでください。序文のステップ 7 で、次のテキストを入力 します。

テキストの例を次に示します。

"ブラウザを開き、世界で最も裕福な人々を検索し、 Excel ファイルを開き、 Excel にすべての 検索データを入れて、私の電子メールにデータを含む手紙を送信します "

1) Clik データ コマンド -> 部分文字列。最初のフィールドに「変数」を書き込み、開始する 位置(私たちの場合は12)を書き込み、部分文字列の長さ(または-1から終了)と結果変 数 "result" を入れます。

	Add New Command	× -	. 🗆 🗡
Iron Man	Data Commands - Substring	-	
File Actions Image: State Action state Image: State Action state New Open Import Save Save	Please select a variable or text to modify variable Start from Position	✓	
 API Commands Data Commands Date Calculation Format Data Get Word Count Get Word Length Log Data Modify Variable Deray IGON A server 	12 Optional - Length (-1 to keep remainder) -1 Please select the variable to receive the changes result Comment Field (Optional)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ble']
Parse JSON Array Parse JSON Object PDF Extraction RegEx Extraction Replace Text Split Text Substring Text Extraction Text Extraction			
 Englie Commands Excel Commands File Operation Commands IE Browser Commands If Commands 		-	

2) 結果をセル A3 に設定します (序文を見て、手順 7)

禄存]と[実行]をクリックしてスクリプトを開始します。

データ コマンド - ' テキスト抽出 '

このコマンドを使用すると、文字列からテキストを抽出できます。スクリプトの例: この章を読み始める前に序文を読んでください。序文のステップ 7 で、次のテキストを入力 します。

テキストの例を次に示します。

"ブラウザを開き、世界で最も裕福な人々を検索し、 Excel ファイルを開き、 Excel にすべての 検索データを入れて、私の電子メールにデータを含む手紙を送信します "

1) [データ コマンド] -> [テキスト抽出] の順にクリックします。最初のフィールド入力 名 " 変数 " 。 2 番目のファイルでは、 3 つのアクションがあります :

a) テキストの後にすべて抽出するにはテキストが必要で、その後、すべての文字が抽出され ます。例:「変数」では、「座る」の後にすべてを抽出したいと考えています。次に、「パ ラメータ値」の「リーディングテキスト」の反対側に「座る」と書き、結果は「アメット、 奉献」になります。

b) 前と同じテキストの前にすべてを抽出しますが、先頭のテキストの前にテキストを抽出します。

c) テキスト間のすべての抽出は、末尾のテキストと先行テキストを必要とします。このアクションは、スクリプトで使用します。

M	2		Add New Command	- 🗆 ×	×
Iron Man	Data Com	mands - Text Extraction		•	1
File Actions Image: Second system Image: Second system	Supply t * Insert v variabl	the value or variable requi ′ariable e	iring extraction (ex. [vSomeVariable])	Â	
 API Commands Data Commands Date Calculation Format Data Get Word Count 	 Please s Extract A Please s msert V 	elect text extraction type All Between Text elect the variable to receiv 'ariable	ve the extracted text	v	
Get Word Length Log Data Modify Variable Parse JSON Array	result Extractio * Insert V	on Parameters /ariable		Ý	able']
Parse JSON Object	P	arameter Name	Parameter Value		
PDF Extraction		ading Text	ipsum		
RegEx Extraction	Тр	ailing Text	consectetur		
Replace Text	Sk	tip Past Occurences	0		
Split Text	•				
Substring Text Extraction Engine Commands Excel Commands File Operation Commands IE Browser Commands	Comme	nt Field (Optional)			
: If Commands					
	Ok	Cancel			

2) 「結果」の値をセル A3 に設定する

字] と [実行] をクリックしてスクリプトを開始します。

エンジン コマンド - ' エラー処理 '

このコマンドを使用すると、スクリプト内のエラーをキャッチし、必要に応めてスクリプト を続行または停止できます。 スクリプト例を見てみましょう。

1) [プログラム / プロセスコマンド] をクリックし、 [プロセスを開始] をクリックし ます。______

<u>8</u>	📓 Add New Command 🗕 🗆 🗙	- 🗆 🗡
Iron Man	Programs/Process Commands - Start Process	
File Actions ★ ↓ ↓ ↓ ↓ New Open Import Save Save	Please enter the name or path to the program (ex. notepad, calc) Insert Variable Select a File	
🗄 API Commands 📃 🔿	notepad	
 Data Commands Engine Commands 	Please enter any arguments (if applicable) * Insert Variable	1_m
Excel Commands		
IE Browser Commands	Comment Field (Optional)	
If Commands		
Image Commands		
Input Commands		
Eoop Commands		
Misc Commands		
NLG Commands		
Programs/Process Commands		
Run Custom Code		
Run Script		
Start Process		
Stop Process		
System Commands		
Task Commands		
Text File Commands		
Variable Commands		
	Ok Cancel .::	

このコマンドを実行すると、メモ帳が開きます。このコマンドのすべての機能については、こ Dマニュアルで以下に説明します。

2) [変数コマンド] -> [新しい変数] をクリックし、 "data" という名前を付けま



3) 次に、データコマンド -> 日付計算を見つけます。2番目のフィールドで「2番目に追加」 を選択し、「日付計算を受け取る変数を選択してください」に「[data]」と書きます。

X	Add New Command – 🗆 🗙	- 🗆 🗙
Iron Man	Data Commands - Date Calculation	
File Actions ★ ← → ↓	Please supply the date value or variable (ex. [DateTime.Now] Insert Variable {DateTime.Now}	
API Commands Data Commands Date Calculation Format Data Get Word Count Get Word Length	Please Select a Calculation Method Add Seconds Please supply the increment value Optional - Specify String Format	jata]
Log Data Modify Variable Parse JSON Array Parse JSON Object PDF Extraction	MM/dd/yyyy hh:mm:ss Please select the variable to receive the date calculation * Insert Variable	
RegEx Extraction Replace Text Split Text Substring Text Extraction Engine Commands Excel Commands File Operation Commands	Comment Field (Optional)	
 IE Browser Commands If Commands 	Ok Cancel	

4) 入力コマンド ->[キーストロークの送信]を選択し、「現在のウィンドウ」を選択し、2 番目のフィールドに「[data]」と入力します。次に、「キーストロークを送信」をもう一度選 択し、「エラーが正しく処理されました」を送信します。

5) スクリプトを実行します。

<クリプトがエラーで完了したことがわかります。ただし、エラー処理を使用すると、このエラ Fャッチできます。

6) エンジンコマンドの検索 -> エラー処理。「処理を続行」を選択し、スクリプト編集画面で このコマンドを 3 番目の位置(日付計算コマンドの前)に配置します。スクリーンショット でスクリップの終了バージョンを見ることができます。





7) 今、スクリプトを実行し、すべてが正しく動作することを確認することができます。

Engine Commands - ' pause script '

このコマンドを使用すると、スクリプトを時間に停止できます。 スクリプト例を見てみましょう。

メモ帳を作成する(前の手順と同様) [送信済みキーストローク]を選択し、「一時停止開始 10000ms」と入力します。 エンジンコマンドの選択 -> スクリプトの一時停止と書き込 み 10000(ミリ秒)

 [送信済みキーストローク]を選択し、「一時停止の終 了 10000 ミリ秒」と入力します。



保存]と[実行]をクリックしてスクリプトを開始します。

_ エンジンコマンド – ' セットエンジン遅延 '' ストップウォッチ '

エンジン遅延の設定

スクリプトの一時停止 — 非常に良い機能ですが、10を超えるコマンドの間で 遅延を設定したい場合はどうなります。すべてのコマンドの間に「スクリプト を一時停止」を置く - それは本当に退屈です。このために「エンジンコマン ドの設定」を作成しますが、その使用法は「スクリプトの一時停止」と同じで すが、一時停止は「エンジンコマンドの設定」の下のすべてのコマンドに使用 されます。

ストップウォッチ

このコマンドを使用すると、スクリプト コマンドの時間を測定できます。この コマンドは簡単です - 測定するコマンドの前に「ストップウォッチを開始」 でストップウォッチコマンドを追加し、これらのコマンドの後に「ストップウ ォッチを停止」を追加します。次に、[ストップウォッチを測定]を選択し、 測定の値を保存する変数の名前を入力します。

Excel コマンド

この一連のコマンドを使用すると、Excel を自動的に開いたり、Excel ファイル を作成したり、行やセルを変更したりするなど、Excel ファイルを自動的に管理 できます。Excel を使用するのが得意な場合は、このコマンドを理解するのは簡 単です。Excel コマンドの使用方法の例を 1 つ示します。この例を理解するた めに。 例

この例では、2 つのシートを持つ 1 つの Excel ファイルがあります。 1) Excel コマンドを検索する -> Excel アプリケーションの作成



インスタンス名に「 e1」を入力します。

2) 次に、[アクティブ化]ウィンドウを見つけて(「ウィンドウ コマンド」を参照)、 Excel を入力します。次に、[ウィンドウ サイズの設定]を見つけ、[現在のウィンドウ]を選択し ます。

3) 今、あなたは手でいくつかの Excel ファイルを作成する必要があります。このファイルのス クリーンショットを添付します。次のようにします。

A	В	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	0
F	irst Name	Peter											
F	Age	22											
c	country	nil											
t.	oirthday	01.сен.90											
C	Gender	male											
		expense	-2000										
		salary	1000										
		bonus	2000										
		Total											

(シート 2 に出席する – あなたもそれを作成する必要があります)。このファイルを "test1.xlsx" として保存し、 Excel を閉じます。

4) アイアンマンで Excel コマンドを見つける -> ブックを開く



インスタンス名 "e1" を入力し、2 番目のフィールドに "test1.xlsx" ファイルへのパスを入力し

5) アクション 2 を繰り返し、[アクティブ化]+[最大化] ウィンドウ "test1.xlsx - Excel" ウィ ンドウ。

6) Excel コマンドを検索する -> シートのアクティブ化



入力インスタンス "e1" とシート "Sheet1" 。

7)3000 ミリ秒の一時停止スクリプトを追加します(エンジンコマンドを参照)。今回は Excel ファイルを開きます。

8) [高度なキーストロークを現在のウィンドウに送信] を選択します :Ctrl キーダウンとして Ctrl 、キーを押すように F[F] を選択します。スクリーンショットを参照してください。



このコマンドを実行すると、 Excel の検索機能が開きます。

- 9) 一時停止スクリプト 3000 ミリ秒をもう一度追加します。
- 10) キーストロークの送信を選択し、現在のウィンドウに「経費」を送信
- 11) もう一度高度なキーストロークを送信し、キーを押して Enter を送信します。
- 12) [ウィンドウを閉じる]を選択し(「ウィンドウコマンド」を参照)、「現在のウィンドウ」を設定します このコマンドは Excel の検索ウィンドウを閉じます。
- 13) 一時停止スクリプト 3000 ミリ秒をもう一度追加します。
- 14) 今、あなたは「ループ回数」を作成する必要があり(ループコマンドを参照)、最初のフィ ールドに「4」を入力します。
- このループでは、[送信(高度な)キーストローク]コマンドを使用して Sheet1 から Sheet2 に情報をコピーします。出席を参照してください。すべてのコマンドは、「ループ4回」と 「ループ終了」コマンドの間で入力する必要があります。
- 15) セル "expense" のポインタをセル "expense" に追加したので、セルをコピーして Sheet2 に入力します。[高度なキーストロークを送信]を選択し、 Ctrl キーダウンとして設定し、キ ーを現在のウィンドウに押すように C [C] を設定する (このコマンドはセルの内容をコピーす る) スクリーンショットで参照してください

2	2		Add New C	ommand	- 🗆 🗙	 ×
Iron Man	Input C	ommands - Send Advanc	ed Keystrokes		•	
File Actions Image: Second system Image: Second system	Pleas <mark>Curre</mark> Set K	e Enter the Window nam e <mark>nt Window</mark> evs and Parameters	e		~	
Data Commands Cngine Commands Excel Commands	•	Selected Key Control [ControlKey]	*	Selected Action Key Down	v	^
File Operation Commands IE Browser Commands If Commands			~	key Press (Down + Op)	~	
 Image Commands Input Commands 	Optic	onal - Return all keys to 'U	IP' position afte	r execution		
 Loop Commands End Loop Exit Loop 	Yes Comi	ment Field (Optional)			Ÿ	
Loop Continuously Loop Excel Dataset						
Loop Number Of Times i Misc Commands						
NLG Commands Programs/Process Commands System Commands						
Task Commands Text File Commands						~
	Ok	Cancel			.4	

16)Excel コマンド ->[シートの有効化]を選択します。インスタンス名 "e1" とシートは "Sheet2" です。

17) [高度なキーストロークを送信]を選択し、Ctrl をキーダウンとして送信し、キーを押して
 現在のウィンドウに V[V] を送信します(このコマンドはセルの内容を入力します)。
 18) シート1のアクティブ化

- 19) 現在のウィンドウにキーを押すように「右矢印」を送信します。
- 20) ステップ 15 のコピーコマンド

21)Sheet2 をアクティブにし、もう一度キーを押すように「右矢印」を送信します(コピーして 貼り付けることができます)

- 22) ステップ 17 のコピーコマンド
- 23) シート1のアクティブ化
- 24) キーを押して左矢印を送信し、キーを押すように左矢印(このコマンドはセル「給与」に移動します)
- 25) ステップ 15 のコピーコマンド
- 26) Sheet2 をアクティブにし、手順 24 を繰り返します。
- 27) ステップ 17 のコピーコマンド

この一連のコマンドコピーセル "経費"、 "給与"、 "ボーナス"、および "合計"を Sheet2 にコピーします。

次に、すべての値を合計し、結果を Total に書き込む必要があります。

28) Excel コマンド -> [セルへ移動] をクリックし、インスタンス名 "e1" をクリックしてセル を B4 にします。このコマンドは、セル B4 ([合計値] セル) へのセル ポインタを削除しま す。

29)Alt キーダウンとして Alt を送信し、現在のウィンドウにキーを押すように "+[Oemplus]" を送信しました。このコマンドは、 Excel で "Sum" 関数を呼び出します。

- 30) 一時停止スクリプト 3000 ミリ秒を追加します。
- 31) 現在のウィンドウに「入力」を送信しました。

それはすべてです。[保存]と[実行]をクリックしてスクリプトを開始できます(スクリーンショットでスクリプトを確認してください)。

- 1 III Create Excel Application [Instance Name: 'e1']
- 2 Activate Window [Target Window: Excel]
- 3 🔲 Set Window State [Target Window: Current Window, Window State: Maximize]
- 4 🏢 Open Workbook [Open from 'D:\BigDataHush\Manual\test1.xlsx', Instance Name: 'e1']
- 5 Activate Window [Target Window: test1.xlsx Excel]
- 6 🔲 Set Window State [Target Window: Current Window, Window State: Maximize]
- 7 III Activate Sheet [Sheet Name: Sheet1, Instance Name: 'e1']
- 8 **O** Pause Script [Wait for 3000ms]
- 9 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 10 **O** Pause Script [Wait for 3000ms]
- 11 -> Send Keystrokes [Send 'expense' to 'Current Window']
- 12 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 13 🗵 Close Window [Target Window: Current Window]
- 14 D Pause Script [Wait for 3000ms]
- 15 🕕 New Variable [Assign '' to New Variable 'cells']

16 🖓 👘 Loop 4 Times

- 17 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 18 III Activate Sheet [Sheet Name: Sheet2, Instance Name: 'e1']
- 19 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 20 III Activate Sheet [Sheet Name: Sheet1, Instance Name: 'e1']
- 21 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 22 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 23 III Activate Sheet [Sheet Name: Sheet2, Instance Name: 'e1']
- 24 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 25 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 26 🏢 💫 Activate Sheet [Sheet Name: Sheet1, Instance Name: 'e1']
- 27 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 28 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 29 🏼 🛛 🛛 Activate Sheet [Sheet Name: Sheet2, Instance Name: 'e1']
- 30 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 31 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 32 Ù 👘 End Loop
- 33 🏢 Go To Cell [Go To: 'B4', Instance Name: 'e1']
- 34 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']
- 35 D Pause Script [Wait for 3000ms]
- 36 → Send Advanced Keystrokes [Send To Window 'Current Window']

ファイル操作コマンド

これらのコマンドを使用すると、コンピュータ上のファイルを管理で きます。それは理解しやすいです。

「ファイルの削除」コマンドを使用すると、ファイルを削除すること ができますファイルへのパスを入力するだけでファイルを削除するこ とができます。「ファイルの移動/コピー」を使用すると、ファイル を移動またはコピーできます:ファイルを移動またはコピーする - 移 動またはコピー、ファイルディレクトリとファイルを移動/コピーす るディレクトリを入力します。また、オプションとして、ディレクト リが存在しない場合はディレクトリを作成し、ファイルが存在する場 合は削除できます。「ファイル名の変更」を使用すると、ファイル名 を変更することができます:ファイルと新しいファイル名にディレク トリを挿入します。最後のコマンド「ファイルを待つ」は、ファイル が存在する間待ちます。表示されていない場合は、スクリプトが一時 停止します。

IE ブラウザ コマンド

このコマンドを使用すると、Internet Explorer を自動化できます。ブラウザの使い方を知っていれば、コマンドは簡単です。これらのコマンドを1つのスクリプトで説明します。

1) IE ブラウザコマンドを見つける -> ブラウザの作成



から行きたい URL を書き込むことができます。

2) IE ブラウザコマンドを検索する -> URL に移動する

	Add New Command –
Iron Man	E Browser Commands - Navigate to URL
File Actions * Image: Constraint of the second	Please Enter the instance name
IE Browser Commands Close Browser	Please Enter the URL to navigate to * Insert Variable
Create Browser Element Action Find Browser	https://www.google.com/ Comment Field (Optional)
Navigate to URL	
Input Commands Loop Commands	
Misc Commands NLG Commands Programs/Process Commands	
 System Commands Task Commands 	
Variable Commands Variable Commands Web Browser Commands	
Close Browser Create Browser	
Element Action	Ok Cancel

のフィールドに任意の名前を入力し、 "https://www.google.com/"(! 「 google.com 」だけでなく、 ての URL を書き込みます !

3)IE ブラウザコマンドを見つける -> ブラウザを閉じるためにクッパを閉じる



コマンドの場合

このコマンドは、何らかの場合に何らかのアクションを実行する場合に使用できます。たとえ ば、ファイル "PBD.txt" が存在する場合はファイル "PBD1.txt" を作成し、 "PBD.txt" が存在し ない場合は "PBD2.txt" ファイルを作成します。そのやり方を見てみましょう。 "PBD.txt" という名前のファイルをコンピュータ上の任意の場所に作成し、「アイアンマン」を 開き、指示に従います。

1) コマンドの場合を検索する -> [次の場合に開始]



ァイルディレクトリへのパスを入力し、「存在する」を選択します。

ご覧のとおり、コマンド "End If" が自動的に作成されます。何かが起こった場合に実行される コマンドと実行しないコマンドを理解する「アイアンマン」が必要です。また、緑色のコマン ドも自動的に作成されますが、このコマンドはコメントであり、スクリプトはここで書いたす べてを無視します。必要に応じて、このコマンドを削除できます。

ここで、if コマンドが「ファイルの作成」(「ファイル操作コマンド」を参照)を選択し、ファイル「PBD1.txt」を作成する場合の間の領域で。

2)[コマンドの場合]->[Else]を選択し、[OK]をクリックします。このコマンドは、 "PBD.txt" ファイルが存在しない場合に実行されます。

<u>×</u>	8	Add New Command -	×	 ×
Iron Man	If Commands - Else		-	
File Actions ★ Den Import Save Save As	Comment Field (Optional)			
 API Commands Data Commands Engine Commands Excel Commands File Operation Commands IE Browser Commands 				
If Commands Begin If Else End If Image Commands				
Input Commands Loop Commands Misc Commands NLG Commands				
Programs/Process Commands System Commands Task Commands Text File Commands Voriable Commands				
Web Browser Commands	Ok Cancel			

「Else」と「終了」コマンドの間に「ファイルの作成」と入力し、「PBD2.txt」ファイルを作 成します。 [保存]と[実行]をクリックしてスクリプトを開始します。

イメージ コマンド

この部分では、画面上の画像を認識したり、スクリーンショットを撮ることができます.

画像認識

このコマンドを使用すると、画面上の画像を認識し、この画像にマウスを移動することができます。例では、それがどのように動作するかを見ることができます。

Word 文書を作成し、次のイメージを入力します。

Word 文書でウィンドウをアクティブにして最大化する ("データコマンド" またはパーツ "ウィンドウコマンド "の前付けを参照)

「画像認識」をクリックし、「参照画像のキャプチャ」を選択します。認識モードに入ります。赤い長方形で認識したい画像を選択し、「追加」をクリックします。選択した領域がスクリプトウィンドウに追加されていることがわかります。このイメージからマウスの矢印を一部の座標に移動する場合は、フィールドに座標XとYを設定します。次に、このイメージで実行する操作をマウスで選択できます。最後のフィールドでは、タイムアウトを選択できます:時間が残っていて、イメージが見つからない場合、スクリプトはエラーを除きます。



[保存]と[実行]をクリックしてスクリプトを開始できます。

このコマンドを使用すると、スクリプトの実行中にスクリーンショットを撮できます。

入力コマンド – ' html 入力のプロンプト '

このコマンドを使用すると、 HTML コードの結果をすばやく表示できます。次のスクリプトを テストできます。

1) Cick 入力コマンド -> HTML 入力を求めるプロンプトを表示し、いくつかの HTML コードを モミのフィールドに設定し、エラーが発生した場合にウィンドウを閉じる場合は 2 番目のフ ィールドで [閉じる時にエラー]を選択するか、それ以外の場合は「閉じる時にエラーを実行 しない」を選択します。

D.	🗈 Add New Command – 🗖 🔀
Iron Man	Input Commands - Prompt for HTML Input
File Actions * Import Save Save As	Please specify the HTML to be used * Launch HTML Builder html
API Commands	Specify if an error should occur on any result other than 'OK'
Data Commands Engine Commands	Error On Close
Excel Commands	Comment Field (Optional)
File Operation Commands	
IE Browser Commands If Commands	
Image Commands	
Input Commands	
Prompt for Input	
Send Advanced Keystrokes	
Send Keystrokes	
Send Mouse Move	
UI Automation	
Loop Commands	
NLG Commands	
Programs/Process Commands	
System Commands	
	Ok Cancel

保存]と[実行]をクリックしてスクリプトを開始します。

入力コマンド -' 入力プロンプト '

このコマンドを使用すると、スクリプトの実行中にプログラムに一部のデータを入力できま す。例を参照してください。

「プロセスの開始」を選択し、メモ帳を開始します (PDF 書き出し、ステップ 3 または「プロ グラム / プロセスコマンド」部分を参照)。

新しい変数 "data" を作成する(「データ コマンド」または「変数コマンド」部分の序文を参 照)

1) [入力コマンド]->[入力を求めるプロンプト]をクリックし、次の図に従ってフィール ドに入力します。

スクリプトを実行すると、ウィンドウ「ユーザー入力」が作成されます。

Add New Command -	
Input Commands - Prompt for Input	🗈 User Input – 🗆 🗙
Please specify a heading name	Please Provide Input
Please Provide Input	Data
Please specify input directions Directions: Please fill in the following fields	Hello world
User Input Parameters * Add Input Parameter insert Variable	
Input Type Input Label Imput Size Default Value Assigned UserInput / TextBox V Data 500,100 Hello world data	
Comment Field (Optional)	
	Accept Cancel
Ok Cancel	

次に、[キーストロークを送信]を選択し、メモ帳に "data" 変数を送信します(エラー処 理、手順4または「キーストロークの送信+高度なキーストロークの送信」部分を参照)。 [保存]と[実行]をクリックしてスクリプトを開始します。入力フィールドに任意のテキストを書き込み、「OK」を送信できます。このテキストはメモ帳に入力されます。

入力コマンド – ' キーストロークの送信 + 高度なキーストロークの送信

[キーストロークを送信] コマンドを使用すると、一部のデータ(テキストやキーなど)をウィンドウ(メモ帳、Excel など)に送信できます。高度なキーストロークを送信すると、キーのいくつかの組み合わせをウィンドウに送信できます。

1)[プロセスの開始]をクリックし、メモ帳を起動します (PDF 抽出、ステップ3または「プロ セス / プログラムコマンド」部分を参照)。 2)[入力コマンド]->[キーストロークの送信]の順にクリックし、[現在のウィンドウ]を選 択して2番目のフィールドに "Hello world!" を挿入します。



3) [入力コマンド]->[高度なキーストロークの送信]をクリックし、[現在のウィンドウ]を 選択して、[選択したキー]として[[戻る]]を設定し、[選択したアクション]として[キー を押す]を設定します。また、必要に応じて「すべてのキーを 'UP'の位置に戻す」を「はい」 に置くことができます。

<u>8</u>	🖬 Add New Command 🗕 🗖 🗙	- 🗆 🗙
Iron Man	Input Commands - Send Advanced Keystrokes	
File Actions	Please Enter the Window name Current Window Set Keys and Parameters	
API Commands Data Commands Engine Commands Excel Commands File Operation Commands IE Browser Commands If Commands Image Commands Innage Commands	Selected Key Selected Action Enter [Return] V V <td< td=""><td></td></td<>	
Prompt for HTML Input Prompt for Input Send Advanced Keystrokes Send Keystrokes Send Mouse Click Send Mouse Move UI Automation	Yes v Comment Field (Optional)	
Misc Commands NLG Commands Programs/Process Commands System Commands	Ok Cancel .:	

4) [キーストロークの送信]をもう一度選択し、[お元気ですか?[保存]と[実行]をク リックしてスクリプトを開始します。

これらのコマンドを使用すると、マウスを自動的に移動またはクリックできます。あなたは それを自分で簡単にテストすることができます。

ループコマンド -' ループリスト '

「テキストの分割」を見てループリストコマンドを使用してスクリプトを構築することができ ます。ここでは、何が起こるかを説明します。

ループリストを使用すると、リスト変数の値を管理できます。このためには、変更可能なイン デックス(例では 'i' など)が必要です。何のためですか。ペイントイメージでループの仕組 みを理解してみましょう。



赤い四角形 – いくつかの変数 ("var" など) です。テキストを含む黒の四角形 – "var" に含ま れる多くの値です (すべての単語が分離されます)。すべての黒い四角形 ("My" 四角形など) の数値 (数値 1、 "名前 "、 2 など)を指定します。私たちは 8 つの数字を持っています ("25" は 8 です)。次に、「テキストの分割」スクリプトのスクリーンショットを見てください。

<u>×</u>		taskt - (12_okSplitText.xml)		- 8 ×
Iron Man				
File Actions Image: New Open Import Image: Save Save Save Save Save Save Save Save	Variables and Settings Xariables Settings As Variables Settings Variables Settings Variables Settings Clear Record and Run Record and Run Record and Run Record and Run	Search Run		
API Commands Data Commands Engine Commands File Operation Commands IF Browser Commands If Grommands Image Commands Input Commands Loop Commands Misc Commands NLG Commands NLG Commands System Commands Task Commands Task Commands Task Commands Variable Commands Variable Commands Web Browser Commands Window Commands	1 ■ Create Excel Application [Instance 2 □ Activate Window [Target Window 3 □ Set Window State [Target Window 4 ■ Add Workbook [Instance Name: ' 5 ● New Variable [Assign '' to New V.' 6 ● New Variable [Assign '' to New V.' 7 ● Set Variable [Apply 'Lorem ipsum 8 ■ Set Cell [Set Cell 'A1' to 'variable' 9 → Send Keystrokes [Send '[ENTER]'' 10 ③ Split Text [Split 'variable' by '' ar 11 ● New Variable [Assign '0' to New V.' 12 □ Loop List Variable '[result]' 13 ● If ([i] is not equal to 1 14 → Send Keystrokes [15 → Send Keystrokes [16 End If 17 ④ Set Variable [Apply '[i] + 18 End Loop	ie Name: 'e1'] w: Excel] w: Current Window, Window State: Maximize 'e1'] 'ariable 'variable'] 'ariable 'result'] n dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, s ', Instance Name: 'e1'] to 'Current Window'] nd apply to '[result]'] Variable 'i'] 10) [Send '[result]' to 'Current Window'] [Send '[ENTER}' to 'Current Window'] 1' to Variable 'i']] sed do eiusmod tempor incididunt ut	labore et dolore ma



「[i]が10に等しくない場合」を見ることができますが、私たちの場合は「[i]が 8に等しくない場合」が必要になります。何もない。

ループには、ステップなどの反復があります。第一歩、第2弾などこの例では、 すべてのステップループで赤い長方形からテキストを送信します。したがって、 すべてのステップで "I" 値を変更する必要があります - まず、ループを終了する ため、次に、テキストをステップバイステップで送信するために、 "My" と end だけでなく、したがって、ループの各ステップの後、最終的には i 変数を変更す る必要があります。したがって、 " 変数の設定 [[i]+1' を変数 'i'] に適用する」 終了ループは、すべてのステップを終了するためのマーカーです。「ループの終 了」コマンドを確認できます。このコマンドを使用すると、 i 値が 3 の場合に ループを終了するとします。必要なものはすべて、 if ステートメント (「 If コ マンド」を参照)を追加し、 "Exit ループ " を追加します。「終了ループ」は、 コマンド「連続ループ」で非常に便利です。

このコマンドを使用すると、ループを開始できます。必要なのは、連続ループを 開始する(コマンドを除くフィールドを持たない)、すべてのステップで何が起 こるかを入力し、「コマンドの場合」+「ループの終了」コマンド(ループ終了 ではない)を使用して、ループが停止するタイミングを追加します。

このコマンド – 前と同様ですが、開始からの具体的なステップ数があります。 このコマンドの例は、「Excel コマンド」の部分で確認できます。

misc コマンド – ' コード コメントの追加 '

このコマンドを使用すると、スクリプトにテキストを追加できます。このようなコマンドは、 他の開発者がコードを理解する必要があります。アイアンマンのすべてのコマンドにはオプシ ョンのフィールドがあります - これはコメントです。スクリーンショットでコメントコマンド の結果を見ることができます:

	tackt (01 c	What		- - X
ron Man	taski - (01_0			
l OTTIVIATI le Actions	Variables and Settings R	lecord and Run <u>Search</u>		
* 🗀 → 💾 🖳	{×} ≡ X	o 🕒 🕑 🗕		
* Image Commands File Operation Commands File Operation Commands IE Browser Commands If Commands If Commands Image Commands Input Commands Input Commands Input Commands Image Commands Input Commands Image Commands Input Commands Image Commands Input Commands Image Commands Get Clipboard Text Send SMTP Email Sequence Command Set Clipboard Text Show Message NLG Commands Programs/Process Commands Task Commands Task Commands Text File Commands Web Browser Commands Web Browser Commands	 Yariables Settings Clear Start Process [Process 2	Record Schedule Run s: notepad] est commands sequence! d 'Hello world!' to 'Curren	nt Window']	

misc コマンド – ' クリップボード テキストの設定 + クリップボード テキストの取得 '

このコマンドを使用すると、クリップボードとの間でテキストを設定/取得し、変数に入れる こともできます。簡単な例を見てみましょう:

1) メモ帳を起動します (PDF 抽出、ステップ3 または「プログラム / プロセスコマンド」を参照 してください)。新しい変数 'data' を作成し(「変数コマンド」を参照)、「 Hello World!」を 入力します。次に、「キーストロークを送信」を選択し、現在のウィンドウ(「入力コマン ド」)に「データ」を送信します。

2) [その他のコマンド]-> [クリップボードテキストの設定]を選択します。



最初のフィールドに任意のテキストを入力します。 または、コンピュータ上の任意の場所から任意のテキストをコピーするこ ともできます。このテキストはクリップボードに保存されます。 3) [その他のコマンド]-> [クリップボード テキストの取得]を選択します。



クリップボードテキスト(この場合は「データ」)を入力する変数の名前を入力します。

4)「キーストロークを送信」を選択し、現在のウィンドウに「データ」を送信します。

[保存] と [実行] をクリックしてスクリプトを開始します。 詳細な例については、「Excel コマンド」を参照してください。

misc コマンド – 'SMTP 電子メールの送信 '

このコマンドを使用すると、電子メールを送信できます。

	Add New Command	– 🗆 🗙	×	
Iron Man	Misc Commands - Send SMTP Email	-		
File Actions Wew Open → Commands File Operation Commands File Operation Commands File Operation Commands File Operation Commands I E Browser Commands I f Commands I f Commands I nage Commands I nage Commands Misc Commands Misc Commands Add Code Comment Get Clinboard Text Send SMTP Email Sequence Command Set Clipboard Text Show Message NLG Commands Programs/Process Commands Programs/Process Commands	Misc Commands - Send SMTP Email Host Name * Insert Variable mail.meadewillis.com Port * Insert Variable 587 Username * Insert Variable @meadewillis.com Password * Insert Variable @meadewillis.com From Email * Insert Variable To Email			
 System Commands Task Commands Text File Commands Variable Commands Web Browser Commands 	* Insert Variable @gmail.com Subject Ok Cancel	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

ホストとポートを入力します(この情報は、メール プロバイダーのサイトで知ることができます)。ユーザー名(「メールから」フィールドで2回、2番目)、パスワードとユーザー名の受信者を入力します。次に、[件名]と[本文]を追加します。このコマンドを以前のスクリプトに追加してテストできます。



misc コマンド -<u>' シーケンス</u> コマンド '' メッセージの表示 '

このコマンドを使用すると、コマンドをグループ化できます。シーケンスコマン ドコマンドを作成し、作成されたフィールドにコマンドを削除するだけです。い くつかのコマンドを保持し、スクリプト編集画面上で作成されたシーケンスコマ ンドコマンドに移動します。

このコマンドを使用すると、スクリプトの実行中にメッセージを表示できます (メッセージは画像と同じように表示されます)。



プログラム / プロセスコマンド -' プロセスの開始 + プロセスの停止 '

これらのコマンドを使用すると、プログラムを開始 / 停止できます。一部の既定のプロセス (メモ帳など)または既定以外のプログラム (ファイルへのパスを使用)を起動して操作でき ます。以前の多くの部分でいくつかの例を見ることができます。

	Add New Command	- 🗆 🗙	×	1
Iron Man	Programs/Process Commands - Start Process	-		
File Actions The	Please enter the name or path to the program (ex. notepad, calc) * Insert Variable * Select a File			1
API Commands Data Commands Engine Commands Engine Commands	notepad Please enter any arguments (if applicable) * Insert Variable		1_m	
File Operation Commands IE Browser Commands If Commands	Comment Field (Optional)			
 Image Commands Input Commands Loop Commands 				
Misc Commands NLG Commands Responses Commands				
Run Custom Code Run Script				
Start Process Stop Process System Commands				
Task Commands Text File Commands Variable Commands				
	Ok Cancel			1

システムコマンド – '環境変数 + (OS 変数) リモート デスクトップを起動' ' システムアクション '

環境変数 — コンピュータの変数です(フォルダへのパスなど)。 OS 変数 — お使いのコンピュ ーターに関する変数です (OS 言語、説明など)

メモ帳を起動し(プログラム / プロセス コマンドを参照)、新しい変数 'data' を作成します (変数コマンドを参照)。

[システムコマンド]->[環境変数]を選択します。最初のフィールドでは環境変数を選択し、2番目のフィールド入力 'data'(この変数へのパスで構成されるアイアンマン変数の名前)を選択します。

1	Add New Command	—		<	×
Iron Man	System Commands - Environment Variable			•	
\star File Actions 🛛 📃 Options 💽 Script A	Select the required environment variable				
 API Commands Data Commands Engine Commands Excel Commands File Operation Commands IE Browser Commands If Commands Image Commands Input Commands Loop Commands 	TEMP [ex. C:\Users\User\AppData\Local\Temp] Please select the variable to receive output * Insert Variable data Comment Field (Optional)		~	F	
Misc Commands NLG Commands Programs/Process Commands					
 System Commands Environment Variable Launch Remote Desktop OS Variable System Action Task Commands Text File Commands Variable Commands Web Browser Commands Window Commands 					
<i></i>	Ok Cancel				

3) 現在のウィンドウに「データ」を送信しました(入力コマンドを参照)

このコマンドを使用すると、システム(再起動、ロック画面、シャットダウン、ログオフなど)で何かを行うことができます。このコマンドは自分でテストする必要があります)

テキスト コマンド

これらのコマンドを使用すると、テキストファイルとの間で情報の読み取り / 書き込みを行うことができます。

簡単な例を見てみましょう。

手で.txt ファイルを作成し、それに何かを入力します。

[プロセスの開始]を選択し、メモ帳を起動します(プログラム/プロセスコマンドを参照)。次に、新しい変数 "data" を作成します(変数コマンドを参照)。 [テキストファイルコマンド]->[テキストファイルの読み取り]を選択し、テキストファイルへの最初のフィールド入力パスと2番目のフィールド入力 'data'(テキストが入力される変数)を選択します。

[キーストロークを送信し、現在のウィンドウに「データ」を送信するを選択します。

[テキストファイルコマンド]->[テキストファイルの書き込み]を選択し、パ ス文字列の最初のフィールドに入力します。2番目のフィールドに、ファイルに 書き込むテキスト(「ロンドンは英国の首都」など)を入力し、3番目のフィー ルドでファイルを上書きするか、ファイルにテキストを追加します。

次に、[テキストファイルの読み取り]を選択し、このファイルをもう一度読み 取ります。

「データ」をもう一度現在のウィンドウに送信します。 [保存]と[実行]をクリックしてスクリプトを開始します。

変数 コマンド -'新しい変数 + 変数の設定 + 変数に追加 '

これらのコマンドを使用すると、変数を管理できます。変数は、いくつかのデータを保存できるコンテナのようなものです。変数の詳細については、「テキストの分割」を参照してください。

[プロセスの開始]を選択し、メモ帳を起動します(プログラム / プロセス コマンドを参照)。

1) [変数コマンド] -> [新しい変数] の順にクリックします。最初のフィールド – 変数の名前 (この場合は 'data') 。2 番目 – 変数に入力するコンテンツ (この例では " 変数コマンドの設 定 " を使用します) 。3 番目のフィールドは、この名前の変数が存在する場合にアイアンマン が行う必要があるものです。

B	🗈 Add New Command – 🗆 🗙 -	. 🗆 🛛 🗙
Iron Man	Variable Commands - New Variable	
File Actions	Please define the name of the new variable	
★ 🗀 → 💾 🐺	data	
New Open Import Save Save As	Please define the input to be set to above variable	
🗄 API Commands 📃	* Insert Variable	
Data Commands		
 Engine Commands Excel Commands 	Define the action to take if the variable already exists	_
> File Operation Commands	v	
> IE Browser Commands	Comment Field (Optional)	
▷ If Commands		
Image Commands		
> Loop Commands		
Misc Commands		
NLG Commands		
Programs/Process Commands		
System Commands		
> Task Commands		
E Text File Commands		
Variable Commands		
Add To Variable		
New Variable		
Set Variable		
Set Variable Index 🗸 🧹		
	OK Cancel .:	

2) [変数コマンド]-> [変数の設定]の順にクリックします。変数に設定する変数の名前と値を 入力します。



3) [キーストロークの送信]を選択し、現在のウィンドウに「データ」を送信しま す[キーストロークの送信]を選択し、'{Enter}'を現在のウィンドウに送信します。 5) 変数コマンドの検索 -> 変数に追加、フォーマット [data]+text で追加する最初のフィール ドとテキストに 'data' を入力します (スクリーンショットを参照)



6)[キーストロークの送信]を選択し、[現在のウィンドウに 'データ'を送信します。

R存]と[実行]をクリックしてスクリプトを開始します。

ウェブブラウザ コマンド – ' ブラウザの作成 +URL に移動 + 要素アクション + ブラウザを閉じ

これらのコマンドを使用すると、URL に移動したり、ページ上の要素を検索したりするなどの Web ブラウザー (Chrome または IE) を管理できます。

1) Web ブラウザコマンドの検索 -> ブラウザの作成

る

	Add New Command	- 🗆 ×	
Iron Man	Web Browser Commands - Create Browser		•
\star File Actions 🛛 📃 Options 💽 Script A	AC Please Enter the instance name		
> Excel Commands	* Insert Variable	(
> File Operation Commands	default		
> IE Browser Commands	Please Select a Browser Engine Type		
> If Commands	Chrome	~	
Image Commands			
Loop Commands	Instance Tracking (after task ends)		
Misc Commands		~	default
> NLG Commands	Please Select a Window State		
> Programs/Process Commands		~	
> System Commands			
> Task Commands	Please specify Selenium command line options (optional)		
> Text File Commands			
> Variable Commands	Comment Field (Optional)		
Veb Browser Commands			
Create Browser			
Element Action			
Execute Script			
Navigate Back			
Navigate Forward			
Navigate to URL			
Refresh			
> Window Commands			
	Ok Cancel		

2 番目のフィールドで、起動するブラウザーを設定します (Chrome または IE)。次に、ウィンドウの状態 (標準または最大化)を設定します。 "セレンコマンドラインを指定してください…"フィールドは空です (セレン開発者には必要です)。

2) 現在のウィンドウをアクティブにします(「ウィンドウ コマンド」を参照)。
 3) [Web ブラウザ コマンド] -> [URL に移動]を選択します。インスタンス名: 'デフォルト'、

URL : https://www.bbc.com



4) 新しい変数 'data' を作成する(変数コマンドを参照) 5)Web ブラウザコマンドの選択 -> 要素アクション



インスタンス名: 'デフォルト'。2番目のフィールドでは、ページ上の要素を検索する任意の 方法を選択できます。CSSセレクタで[要素を検索]を選択しました。検索の3番目のフィ ールド入力パラメーター(この場合は 'a.block-link_overlay-link')。次のフィールドは、要素で 実行する操作です(必要なものを選択できますが、[テキストの取得]を選択しました)。最 後のフィールドは、要素からテキストをコピーする変数です。[パラメータ値]フィールドに 'data' と入力します。 5) [プロセスの開始] をクリックしてメモ帳を起動し(プログラム / プロセス コマンドを参照)、そのファイルに「データ」を送信します(入力コマンドを参照)。 6) [Web ブラウザ コマンド] -> [ブラウザを閉じる] 、インスタンス名 : デフォルトを選択します。

š	Add New Command	-	×		×	
Iron Man	Web Browser Commands - Close Browser		•			
 File Actions Options Script A Excel Commands File Operation Commands IE Browser Commands If Commands Ingue Commands Input Commands Input Commands Input Commands Misc Commands Misc Commands NLG Commands System Commands System Commands System Commands Task Commands Task Commands Text File Commands Variable Commands Close Browser Create Browser Element Action Execute Script Navigate Back Navigate to URL Refresh Window Commands 	Please Enter the instance name ★ Insert Variable Comment Field (Optional)] default		
	Ok Cancel					

[保存] と [実行] をクリックしてスクリプトを開始しま す。

前の例から 1~3 ステップを繰り返します。 [Web ブラウザコマンド]->[戻る]インスタンス名:デフォルト [Web ブラウザコマンド]をクリック ->[前方に移動]、[インスタンス名:デフォルト] [Web ブラウザーコマンド]->[更新]、[インスタンス名:既定]の順にクリックします。 [保存]と[実行]をクリックしてスクリプトを開始します。

ウィンドウ コマンド

これらのコマンドを使用すると、ウィンドウを管理できます。私たちは、すべてのコマンドで いくつかの簡単なスクリプトを示しています [プロセスの開始]を選択し、メモ帳を起動します(プログラム/プロセス コマンドを参 照)。

1) ウィンドウコマンドを選択する -> ウィンドウをアクティブにして現在のウィンドウをアク ティブにする



2) ウィンドウコマンド -> ウィンドウのサイズ変更を選択し、現在のウィンドウとピクセル単位 で書き込みサイズを設定します。



3) ウィンドウコマンド ->[ウィンドウの移動]を選択します。現在のウィンドウと座標を設定する

<u>.</u>	Add New Command -	
Iron Man	Window Commands - Move Window	
File Actions ★ Den Import Save Save As	Please enter or select the window that you want to move.	
 File Operation Commands IE Browser Commands If Commands If Commands Image Commands 	Please indicate the new X horizontal coordinate (pixel) for the window's location. 0 starts at the left of the screen. Insert Variable 500	
 Input Commands Loop Commands Misc Commands NLG Commands 	Please indicate the new Y vertical coordinate (pixel) for the window's location. 0 starts at the top of the screen. Insert Variable	- 6
Programs/Process Commands System Commands Task Commands Task File Commands	300 Comment Field (Optional)	
Variable Commands		ait
Activate Window Close Window Move Window Resize Window		
Set Window State Wait For Window To Exist 🗸	Ok Cancel	

4) ウィンドウコマンド -> ウィンドウ状態の設定を選択します。現在のウィンドウとウィンド ウの状態を設定する(最大化、最小化、または元に戻す)

	🗈 Add New Command – 🗆 🗙	- 🗆 🗙
Iron Man	Window Commands - Set Window State	
File Actions Image: State of the s	Please enter or select the window that you want to target for change. Insert Variable Current Window	
File Operation Commands IE Browser Commands If Commands Image Commands Input Commands Loop Commands	Please choose the new required state of the window. Maximize ✓ Comment Field (Optional) ✓	
Misc Commands NLG Commands Programs/Process Commands System Commands Task Commands Text File Commands Variable Commands)] Wait
Web Prower Commands Window Commands Activate Window Close Window Move Window Resize Window Set Window State Wait For Window To Exist		
	Ok Cancel .:	

5) ウィンドウが存在するのを待つ]を選択します。2番目のフィールドにウィンドウと入力 "2"を設定します。

ž.	Add New Command -	- 🗆 🗡
Iron Man	Window Commands - Wait For Window To Exist •	
File Actions *	Please enter or select the window name that you are waiting for to exist. * Insert Variable Iron Man - (01_ActivateWindow.xml)	
 File Operation Commands IE Browser Commands If Commands Inage Commands Input Commands Input Commands Input Commands Misc Commands Misc Commands NLG Commands Programs/Process Commands System Commands Task Commands Task Commands Variable Commands Web Browser Commands Web Browser Commands Web Browser Commands Window Commands Activate Window Close Window Move Window Resize Window 	Indicate how many seconds to wait before an error should be raised. Insert Variable Comment Field (Optional))] Nait
Set Window State Wait For Window To Exist		

6) ウィンドウコマンド -> ウィンドウを閉じるを選択し、現在のウィンドウを設定します。

<u>1</u>	🗈 Add New Command 🗕 🗖 🗙	- □ ×
Iron Man	Window Commands - Close Window	
File Actions Image: Second system Image: Second system	Please enter or select the window that you want to close. Insert Variable Current Window V	
 File Operation Commands IE Browser Commands If Commands Image Commands Input Commands Input Commands Misc Commands Misc Commands NLG Commands NLG Commands System Commands Task Commands Task Commands Text File Commands Variable Commands Web Browser Commands Web Browser Commands Window Commands Activate Window Close Window Move Window Resize Window Set Window State Wait For Window To Exist 	Comment Field (Optional))]] Wait